

令和8年度

学生募集要項

2026

大学院美術工芸研究科

博士後期課程



金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

大 学 概 要

| | |
|--|---|
| 1. 教育目的及び入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) | 1 |
| 2. 教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー) | 1 |
| 3. 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー) | 1 |

令和8年度 金沢美術工芸大学大学院 美術工芸研究科 (博士後期課程) 学生募集要項

| | |
|-------------------------------|----|
| 1. 募集人員 | 2 |
| 2. 出願資格 | 2 |
| 3. 出願期間・出願方法等 | 3 |
| 4. 試験日程及び試験内容 | 11 |
| 5. 配点 | 14 |
| 6. 選抜方法 | 14 |
| 7. 試験場所 | 14 |
| 8. 合格発表 | 15 |
| 9. 入学手続期間 | 15 |
| 10. 入学金・授業料 | 15 |
| 11. その他の納入金 | 15 |
| 12. 個人情報の取扱い | 15 |
| 13. その他 | 16 |
| ※ 指導教員 | 17 |
| ※ 研究計画書 | 19 |
| ※ 提出作品・論文等添付用紙 | 20 |
| ※ キャンパスレイアウト・交通アクセス | 21 |

金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科博士後期課程

1. 教育目的及び入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科は、「地域の美術工芸の伝統を踏まえ、美術、工芸、デザインにわたり、造形芸術に関する高度な理論、技術及び応用を研究教授し、その深奥を究めて、文化の創造、進展に寄与することを目的」としてしています(大学院学則第1条)。

博士後期課程では、芸術に関する高度な創造及び表現の技術と理論を研究教授し、地域の美術工芸の深奥を究め、これを総合的に発展創造させ、自立して創作及び研究活動を行うために必要な高度な能力を備えた美術家及び研究者を養成します。

このことから、大学院美術工芸研究科博士後期課程では、美術工芸専攻のそれぞれの研究領域・研究分野にふさわしい資質と研究能力を審査するため、各研究分野ごとに小論文(芸術学以外)、論文又は作品、語学、口述により試験を行います。美術工芸専攻では次のような学生を求めています。

- 志願する研究領域・分野についての知見を有し、言語化する能力を備えている人
- 自立して創作、研究活動を行うための表現技術、知識を備えている人
- 地域及び国際社会における美術工芸の発展に寄与しようとする意欲を備えている人
- 外国語によるコミュニケーション能力を備えている人

2. 教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)

博士後期課程の教育課程には、コースワークとして全領域必修科目である「地域美術演習」、「造形総合研究」及び各領域の選択科目の「研究制作」又は「研究演習」が置かれ、各領域・分野等における総合的、専門的な研究を行っています。さらに、リサーチワークとして全学年必修である「研究領域研究指導」において理論面から論文作成指導を行います。自立して高度な創作・研究活動を可能にするための指導を『研究指導計画書』に基づき実技と理論の両面から受けるほか、1・2年次生は年に2回、研究成果を発表する共同発表会を学生の自律的な運営により開催し、3年次生は論文等審査期間中に、実技系においては研究作品展示を、理論系においては口頭による研究発表を行います。

3. 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科は、大学院学則第1条において、「地域の美術工芸の伝統を踏まえ、美術、工芸、デザインにわたり、造形芸術に関する高度な理論、技術及び応用を研究教授し、その深奥を究めて、文化の創造、進展に寄与することを目的」としてしています。

博士後期課程では、大学院学則第2条第4項で定められた目的、「芸術に関する高度な創造及び表現の技術と理論を研究教授し、地域の美術工芸の深奥を究め、これを総合的に発展創造させ、自立して創作及び研究活動を行うために必要な高度の能力を備えた美術家及び研究者を養成することを目的とする」に則って、次の3つの成果を達成し、所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文及び必要に応じて研究作品を提出して、委員会の審査及び試験に合格した者に、博士後期課程の修了を認定し、博士(芸術)の学位を授与します。

- (1) 美術工芸における各研究領域・分野において、高度な学識を有し、理論の確立を成し遂げている。
- (2) 高度専門職業人として、自立して創作・研究活動を行うための技能や社会性を身につけており、かつ独創的な活動が継続的に行える。
- (3) 芸術家・研究者として地域社会、国際社会の文化の創造・進展に寄与できる。

**令和8年度 金沢美術工芸大学大学院
美術工芸研究科（博士後期課程）学生募集要項**

1. 募集人員

美術工芸研究科 博士後期課程（標準修業年限 3年）

| 専攻 | 研究領域 | 研究分野等 | 募集人数 |
|--------|------|-------------------------------------|------|
| 美術工芸専攻 | 美術 | 日本画 油画(壁画、絵画技法材料を含む) 映像 彫刻 | 7名 |
| | 工芸 | 陶磁 漆芸 金工 染織 | |
| | デザイン | ホリスティックデザイン インダストリアルデザイン | |
| | 芸術学 | 視覚文化研究 現代美術研究 | |

(注) 出願は、一つの研究分野等に限る。

2. 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和8年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設で、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の大学において教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに24歳に達する者

※ 出願資格(8)により出願を希望する者は、個別に出願資格の審査を行うので、令和7年10月3日(金)までに本学事務局へ必ず照会し、必要書類を令和7年10月14日(火)までに本学事務局に提出してください。

3. 出願期間・出願方法等

出願方法は、インターネットを利用したWeb出願のみとなります。

詳細は本要項7～10ページの「インターネット出願の流れ」を参照してください。

(1) 事前準備

| | |
|----------------|--|
| パソコン等の利用環境 | <ul style="list-style-type: none"> PCでのインターネット出願では次のWebブラウザを使用してください。 Microsoft Edge 最新版 Google Chrome 最新版 Mozilla Firefox 最新版 Apple Safari 最新版 ※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がありますので、複数タブでの同時申込操作は控えてください。 スマートフォン、タブレットでのインターネット出願では次のOSを使用してください。 iOS 12 以上 Android OS 8 以上 iPad OS 13 以上 ※各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。 |
| PDF表示・印刷ソフトウェア | <ul style="list-style-type: none"> 志願票・受験票(PDF)の表示・印刷にはアドビシステムズ社が提供しているAdobe Acrobat Reader (無償) が必要です。 |
| メールアドレス | <ul style="list-style-type: none"> 出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。 ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのEメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp |
| 顔写真データ | <ul style="list-style-type: none"> 出願前3か月以内に撮影した正面、無帽、上半身、背景なし、カラーの顔写真データを用意してください。 不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している、本人確認が困難等の写真は使用できません。 |
| 封筒 | <ul style="list-style-type: none"> 必要書類を提出するため、市販の角形2号封筒等(A4用紙が折らずに入る大きさ)を用意してください。 |
| 用紙 | <ul style="list-style-type: none"> 志願票や受験票を印刷するため、A4サイズ白色の用紙を用意してください。 |

(2) 出願方法

志願者は、出願期間内に本学ホームページから「金沢美術工芸大学インターネット出願サイト」にアクセスし、必要事項を登録後、「(5)必要書類」を提出期限内に本学事務局に送付又は持参してください。到着した書類に不備がなく出願資格を有することが確認された時点で出願手続完了となります。出願が受理されると、インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。

※ 送付する場合は、書留速達郵便やEMS(国際スピード郵便)等の配達記録が確認できる方法により提出してください。

※ 送付された必要書類について、本学への到着(配達)有無確認の問い合わせには応じません。

※ 海外から送付する場合は、12月8日(月)までに到着予定日をEメールで本学事務局に連絡してください。

メールアドレス admin(at)kanazawa-bidai.ac.jp (at)は@に置き換えてください。

※ 持参する場合の受付時間は、平日のみ9:00～16:00

(3) 出願期間

| | |
|---------------|------------------------------------|
| インターネット出願登録期間 | 令和7年12月1日(月) 9:00 ~ 12月8日(月) 17:00 |
| 入学考査料支払期間 | 令和7年12月1日(月) 9:00 ~ 12月8日(月) 23:00 |
| 必要書類提出期限 | 令和7年12月8日(月) (消印有効) |

(4) 必要書類提出先(送付又は持参)

〒920-8656 石川県金沢市小立野2丁目40番1号
金沢美術工芸大学事務局 電話 076-262-3531

※ 出願登録完了後、インターネット出願サイトから「宛名シート」をダウンロードできます。

(5) 必要書類

ア. インターネット出願サイトからダウンロードして大学に提出するもの

| 書 類 | 作 成 方 法 |
|---------|---|
| ① 志願票 | <ul style="list-style-type: none">・ 出願登録完了後に印刷(A4判、カラー)してください。・ 印刷後、登録内容に誤りがあった場合は大学事務局まで連絡してください。・ 入学考査料の支払完了後、登録内容の修正はできません。 |
| ② 宛名シート | <ul style="list-style-type: none">・ 出願登録完了後に印刷(A4判、カラー)してください。・ 印刷後、各自が準備する封筒に貼付してください。・ EMS(国際スピード郵便)や国際宅配便等を利用する場合は、「宛名シート」を使用する必要はありません。 |

イ. 上記アに加え、各自が準備して大学に提出するもの

○ 志願者全員が提出するもの

| 書 類 | 作 成 方 法 |
|-----------------------|---|
| ③ 研究計画書 | <ul style="list-style-type: none">・ 募集要項19ページにある本学所定の様式を印刷のうえ、必要事項を記入して提出してください。なお、手書き又はデータ入力いずれも可能です。・ 様式は、本学ホームページからも印刷可能です。 |
| ④ 出願資格を証明する書類及び成績証明書等 | <p>a. 大学院修士(専門職学位)課程修了又は令和8年3月修了見込の者 大学院修士(専門職学位)課程における修了(見込)証明書及び成績証明書(ただし、本学修士課程修了者又は修了見込みの者は、不要) ※出身大学長(学部長)が証明したもの(原本)を提出してください。 ※外国の大学院を終了した場合は、上記に加え、修士の学位授与証明書</p> <p>b. 出願資格(8)により出願する者 ※大学改革支援・学位授与機構から修士の学位を授与された者は学位授与証明書の写し、授与見込みの者については大学改革支援・学位授与機構による授与申請を受理した証明書(学位授与申請受理証明書)</p> <p>※書類は全て原本を提出してください。 ※提出書類が外国語の場合は、日本語の訳を必ず添付してください。(様式任意 A4判、英語の場合は本人翻訳可。それ以外の言語の場合は大使館等公的機関の証明を受けた翻訳文とする。) ※最終学歴が中華人民共和国の教育機関の方は、CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行した有効期限内の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」及び「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」の提出を認めます。この場合、日本語訳は不要です。</p> |

○ 外国人留学生在が提出するもの

| 書 類 | 作 成 方 法 |
|--|---|
| ⑤ 旅券(パスポート)のコピー | <ul style="list-style-type: none"> 顔写真、氏名が記載されているページのコピーを提出してください。 <p>※入学試験を受ける目的で、日本に入国するためには、自国の日本公館でビザ(査証)を申請することになりますが、必ず入国目的を「受験」のためとして、手続を行ってください。「短期滞在査証」が発給されます。</p> |
| ⑥ 在留カードのコピー(両面)又は住民票の写し | <ul style="list-style-type: none"> 外国人留学生で、現に日本国内に居住している場合は提出してください。 |
| ⑦ 日本語能力試験(JLPT) N 2相当以上の日本語能力を有していることを証明する資料 | <p>次のいずれかの試験の成績証明書等(原本)</p> <p>a. 日本語能力試験 (JLPT) N 2 (2級)以上(日本国際教育支援協会及び国際交流基金主催)の「認定結果及び成績に関する証明書」(原本)</p> <p>※「日本語能力認定書」や「合否結果通知書」ではありませんので、提出する書類を間違えないように注意してください。</p> <p>※証明書の発行には時間がかかる場合がありますので、余裕を持って申請してください。</p> <p>b. 日本留学試験 (EJU) (日本語(読解、聴解・聴読解の合計)) 200点以上(日本学生支援機構主催)の成績確認書を印刷したもの(前年度又は今年度実施分に限りませう。)</p> <p>※日本留学試験(EJU)を受験し、出願時点で成績が出ていない場合は「受験票」の写しを提出してください。日本留学試験の結果は、本学が日本学生支援機構から直接入手します。なお、成績が基準に達していない場合は出願を取り下げさせていただきます。</p> |

○ その他

- 研究分野等「彫刻」を志望する者は、提出予定作品のサイズ、材質を記したリスト(様式自由)を提出してください。
- 疾病などにより、入学試験や入学後の授業で特別な配慮を希望する者は、医師・校医等の作成した診断書を提出してください。
- 入学後も、官公署、学校その他会社等に在職する者は、所属長の受験許可書(様式任意A4判)を提出してください。

ウ. インターネット出願サイトからダウンロードして試験日(作品・論文提出含む)持参するもの

| 書 類 | 作 成 方 法 |
|----------------|--|
| ⑧ 受験票 | <ul style="list-style-type: none"> 出願手続きを行った者のうち、受験資格審査のうへ本学大学院が受験資格を有すると認定した者には、令和7年12月19日(金)までに登録したアドレスへEメールで通知します。通知が到着後、インターネット出願サイトから「受験票」をダウンロードのうへ、各自が印刷(A4判、カラー)し、試験当日に持参してください。 受験票のダウンロードに関するEメールが届かない場合は、大学事務局まで連絡してください。 受験票は、入学手続の際に必要なため、試験終了後も大切に保管してください。 |
| ⑨ 提出作品・論文等添付用紙 | <ul style="list-style-type: none"> 作品・論文及びポートフォリオの提出に当たっては、所定の「提出作品・論文等添付用紙」を添付し、指定日時に持参(論文は郵送等可)してください。 様式は、募集要項20ページ又は本学ホームページから印刷してください。 「提出作品・論文等添付用紙」に虚偽があったことが判明した場合は、合格発表後であっても入学許可を取り消すことがあります。 |

(6) 入学考査料

入学考査料の支払いは、インターネット出願サイトにおける出願内容の登録後に行います。9ページに記載するいずれかの手順で支払手続に進んでください。

| 入学考査料 | 支払期間 |
|---|---|
| 30,000円 〔令和8年3月本学大学院修士課程修了見込みの者は、納入不要〕 | 令和7年12月1日(月) 9:00～12月8日(月) 23:00 ※上記期間中、インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23:59まで(ただし、出願登録完了日が支払期限締切日まで4日未満の場合は上記支払期限締切日時が優先) |

※ 支払期間中に支払いが完了しない場合、出願登録は自動的にキャンセルとなります。

※ 入学考査料の他に、支払手数料等が発生します。

※ 一旦納入された入学考査料は返還しません。

(7) 出願に当たっての注意事項

- ① 出願受付後は、いかなる理由があっても、提出された書類等の返却及び記載事項の変更はできません。
- ② 提出された必要書類に不備がある場合、受験する資格のない者として取り扱いますので、十分確認したうえで出願してください。

(8) 障がいをもつ入学志願者との事前相談

障がい（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）を有する入学志願者で、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、事前に事務局に相談し、出願前に事前相談申請書等を提出してください。なお、事前相談は、次のとおりとします。

- ① 相談の時期
学生募集要項発表後から令和7年12月8日(月)まで
9時から16時まで(土・日曜、祝日を除く。)
- ② 相談の方法
事前相談申請書(本学所定の様式に健康診断書等必要書類添付)を提出することとし、必要な場合は、志願者又はその立場を代弁しうる者等との面接等を本学において行います
- ③ 相談先
金沢美術工芸大学 事務局 電話 076-262-3531

Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、
出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…研究テーマとその概要、各種証明書等



STEP

2

Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/kanazawa-bidai/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①入学試験の種類等を選択



②写真画像データのアップロード



③個人情報(氏名・住所等)入力



④申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
出願情報を確認する場合と、出願書類を
出力する際に必要になります。



⑤入学考査料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

入学考査料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

| セブン-イレブンの場合 | |
|----------------------|---------------------------|
| 払込票番号 メモ(13桁) | □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ |
| デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合 | |
| オンライン決済 番号メモ(11桁) | □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ |

| ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、 ペイジー対応銀行ATMの場合 | |
|---|-----------------------|
| お客様番号 メモ(11桁) | □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ |
| 確認番号 メモ(6桁) | □ □ □ □ □ □ |
| 収納機関番号 (5桁) | 5 8 0 2 1 |

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



**申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のしないよう注意してください。ただし、入学考査料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。**

※「入学考査料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学考査料の支払い

*考査料のお支払いには期限があります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON

MINI STOP



Seicomart

マルチコピー機

あなたも、コンビニに、FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

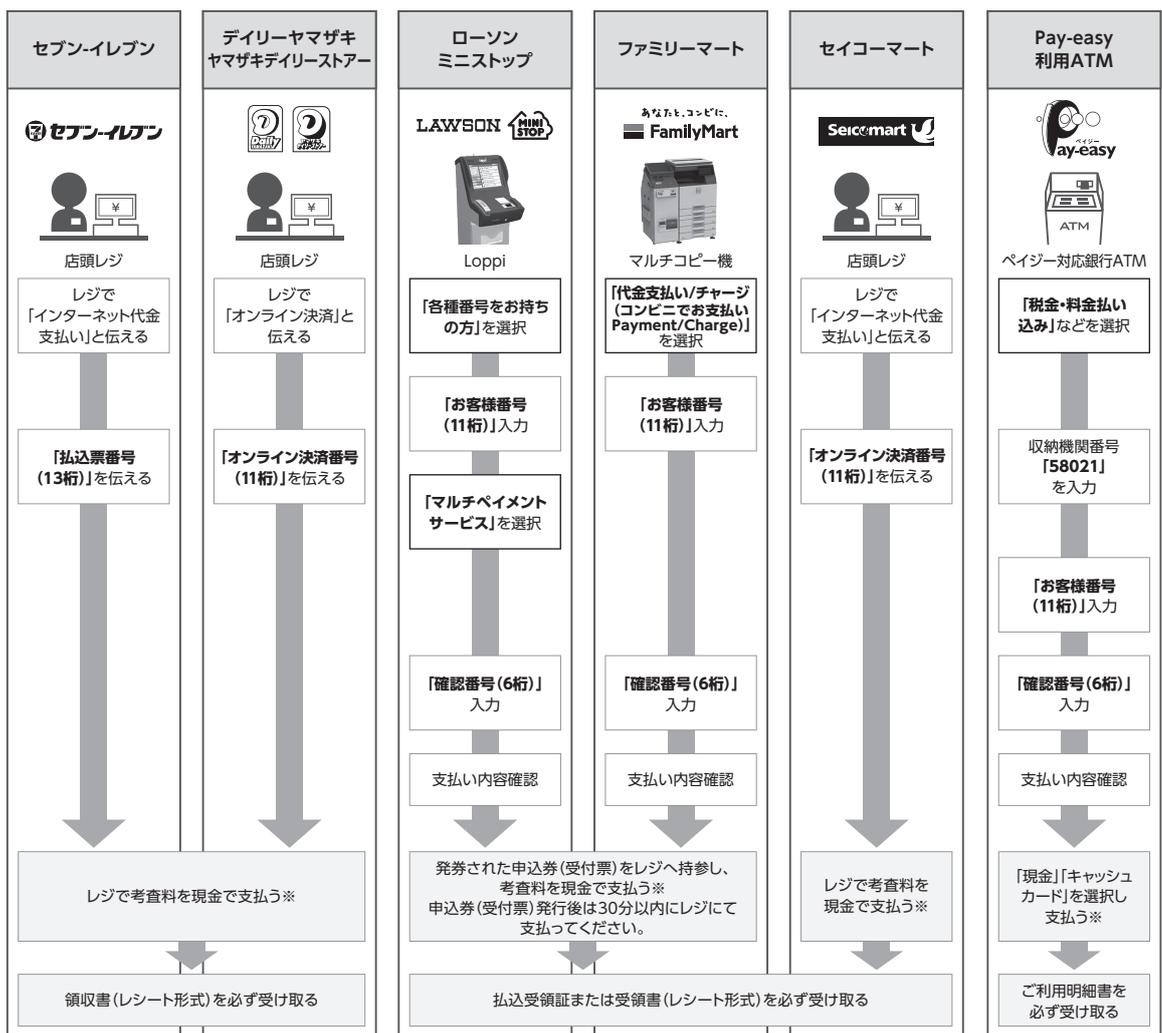
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学考査料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6



必要書類の印刷と郵送

***登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。**

出願登録、入学考査料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と合わせて出願期間内に送付又は持参してください。*出願期間内必着。

送付先

〒920-8656 石川県金沢市小立野2-40-1
金沢美術工芸大学 事務局 行

※出願受理した入学考査料・必要書類は一切返却しません。

志願票等の印刷方法



- (1) マイページに表示された **志願票(印刷)** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **志願票(印刷)** のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

<出願完了>

出願時の 注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学考査料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。
登録のみでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日17時まで、入学考査料の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願締切日消印有効です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

大学で出願を確認後、一斉に受験票を配信します。Web出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷してください。



<入力及び操作に関するお問い合わせ先>

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター(運用会社:株式会社キャリアタス)

TEL: 0120-202079 E-Mail: cvs-web@career-tasu.co.jp

※入試・大学についてのお問合せにはお応えできません。まずは、出願サイトの「よくある質問」にてご確認ください。

4. 試験日程及び試験内容

(1) 作品等及び論文の提出

① 提出する作品等及び小論文又は論文の内容、規格等は以下のとおりです。

| 研究分野等 | 小論文・論文 | | 作品等 | |
|-----------------------------|--|---|--|--|
| | 日 時 | 内容、規格等 | 日 時 | 内容、規格等 |
| 日 本 画 | | (1) 次の二つの小論文を課す。 ①志望する研究分野の現状について歴史的観点をふまえて批評する。 ②提出作品の制作意図を制作過程に沿って論述する。 | | 絵画作品50号以上2点、100号以上3点 (2年以内に制作したものに限り。) |
| 油 画 (壁画、絵画技) (法材料を含む) | 令和8年 1月5(月) ～8日(木) 9:00～16:00 | ①、②共に2,000字程度。図・表は別。字数を明記。 (2) 提出作品の写真(キャビネ程度) (3) 研究計画書(写) ・(1)～(3)を1冊のファイルに綴じたものを8部提出すること。 ・提出した小論文・写真は返却しない。 ・受験番号、研究領域、研究分野等を記載すること。 | 令和8年 1月23(金) 9:00～16:00 1月26(月) 9:00～10:00 | ○作品5～7点 (2年以内に制作したものに限り。) ※提出予定作品のサイズ、材料等、作品の形式を記したリスト(様式自由)をあらかじめ志願票に添付しておくこと。 後日提出方法について指示する。 作品設置に時間がかかる、ものは映像資料(1点あたり3分以内、全体で10分以内)に代えることができる。 映像資料は、ファイル形式をMOV(Prores422)もしくはMP4(H.264)とし、USBメモリに記録すること。 ○ポートフォリオ |
| 映 像 | | | | ○作品2点 (2年以内に完成したものに限り。) ファイル形式がMOV(Prores422)もしくはMP4(H.264)で1点1GB以内の映像を提出すること。 提出方法は出願手続き完了後にEメールで案内する。 ○ポートフォリオ 文字と静止画像で構成されたPDF形式(A4サイズ/12～20ページ/100MB以内)のファイルを提出すること。提出方法は出願手続き完了後にEメールで案内する。 |
| 彫 刻 | | | | ○作品2点 (2年以内に制作したものに限り。) ○ポートフォリオ 作品点数及び制作年は問わないが、必ず提出作品を含めること。各作品の題名、制作年、サイズ、素材等を記入すること。 ※提出予定作品のサイズ、材質を記したリスト(様式自由)をあらかじめ志願票に添付しておくこと。 |

| | | | |
|------------------|------------------|--|---|
| 陶 漆 金 染 | 磁 芸 工 織 | | <p>○志望分野の作品5～7点 (5年以内に制作したものに限る。) ※作品の提出は、作品の配置や展示に必要な時間を考慮に入れ、余裕をもって行うこと。</p> <p>○ポートフォリオ 作品点数及び制作年は問わないが、必ず提出作品を含めること。各作品の題名、制作年、サイズ、素材等を記入すること。 ※提出予定作品のサイズ、材質を記したリスト(様式自由)をあらかじめ志願票に添付しておくこと。</p> |
| ホリスティック デザイン | | | <p>○現物作品 最大5点までとし、論文を含めることができる。</p> <p>○ポートフォリオ 作品点数は問わないが、3年以内に制作したもの及び提出作品を含めること。</p> |

| 研究分野等 | 小論文・論文 | | 作品等 | |
|------------------|---|---|-----|--------|
| | 日時 | 内容、規格等 | 日時 | 内容、規格等 |
| 視覚文化研究 現代美術研究 | 令和8年 1月6(火) ～7日(水) 10:00～16:00 | <p>論文提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度に修士課程(博士前期課程)を修了する見込みの者は、修士論文の複写を3部提出 ・令和6年度以前に修士課程(博士前期課程)を修了した者は、修士論文の複写及び1年以内に作成した論文の複写も3部提出すること。 ・上記以外の論文がある場合は、参考論文としてこれを提出することができる。(3部) ・主要論文1点のレジュメ(3,000字程度)を添付すること。(8部) <p>※ただし、令和7年度に本学修士課程修了見込みの者は、修士論文の複写の提出を要しない。</p> | | |

- ② 出願 (Web入力) にあたっては、希望する指導教員を1名選択してください。
- ③ 作品及び論文の提出にあたっては、所定の「提出作品・論文等添付用紙」(募集要項20ページ又はインターネット出願サイトから印刷したもの)を作品又は論文等に添付し、指定された場所に提出してください。なお、「提出作品・論文等添付用紙」に虚偽があったことが判明した場合は、合格発表後であっても入学許可を取り消すことがあります。

- ④ 作品の提出及び引き取りは、必ず本人が行い、作品の返却は、1月27日(火)、1月28日(水)の口述試験終了後とします。
作品は、前述の指定日時以外は受付けしません。やむを得ず本人が作品の提出及び引き取りを行えない場合は、必ず事前に本学事務局へ連絡してください。引き取りのない作品の保管については、責任を持ちません。
- ⑤ 論文の提出は、平日のみ9時から16時までとします。論文を郵送又は運送する場合は、提出受付期間内の局消印又は業者伝票により有効とします。
論文の記述は、日本語以外に英語、フランス語、ドイツ語を認めます。その場合には、800字程度で日本語の要約を添付してください。
- ⑥ 社会人の場合は、上記の論文に加えて社会経験と志望研究の関連を記述した文章(字数自由)を添付することができます。

(2) 試験日程及び試験内容等

| 研究領域 | 日 時 | 試験の内容 |
|------------------|-------------------------------------|--|
| 美術 工芸 デザイン | 令和8年 1月26日(月) 10:30~12:00 | (1) 語学試験 英語、フランス語、ドイツ語の中から1科目選択 ※本学が用意した辞書の使用可 |
| | 令和8年 1月27日(火)・1月28日(水) 10:00~ | (2) 口述試験(指定する日時に行う。) ※実技試験を課すこともある。 |
| 芸術学 | 令和8年 1月26日(月) 10:30~12:00 | (1) 語学試験 英語、フランス語、ドイツ語、古文・漢文の中から 1科目選択 |
| | 令和8年 1月27日(火)・1月28日(水) 10:00~ | (2) 口述試験(指定する日時に行う。) |

※ 試験室については、学内に掲示します。集合時刻は試験開始20分前とします。

日本語を母国語としない者は、学位申請予備審査までに、「日本語能力試験N1（又は1級）」（日本国際教育支援協会及び国際交流基金主催）を取得するか、これと同等の日本語能力を有している必要があります。ただし、学位申請を行う意志のない方はこのかぎりではありません。

5. 配点

| 研究領域 | 内 訳 | | | 合 計 |
|------------------|------|------|------------------------|-----|
| | 提出作品 | 語学試験 | 口述試験 (研究計画書・小論文を含む) | |
| 美術 工芸 デザイン | 200 | 100 | 100 | 400 |

| 研究領域 | 内 訳 | | | 合 計 |
|------|------|------|--------------------|-----|
| | 提出論文 | 語学試験 | 口述試験 (研究計画書を含む) | |
| 芸術学 | 200 | 100 | 100 | 400 |

6. 選抜方法

入学者の選抜は、試験(提出作品及び小論文〈芸術学領域にあつては提出論文〉、語学、口述)及び成績証明書等を総合して判定します。

7. 試験場所

石川県金沢市小立野2丁目40番1号 金沢美術工芸大学

8. 合格発表

令和8年1月30日(金) 午前10時

合格者の受験番号を学内に掲示するとともに、合格発表日の午前11時(予定)から本学ホームページに掲載します。また、合格者あてに合格通知書及び入学手続きに関する通知を郵送します。(合否の問い合わせには、一切応じません。)

URL <https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>

9. 入学手続期間

令和8年2月2日(月)～2月13日(金)

平日のみ9:00～16:00

- ・入学手続場所 本学事務局(遠方の居住者は、郵送による手続を認めます。)
- ・期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

10. 入学金・授業料

- | | | |
|---------|----------------------------|----------|
| (1) 入学金 | 金沢市内居住者、本学学部卒業生及び本学修士課程修了生 | 282,000円 |
| | 上記以外の者 | 423,000円 |

※「市内居住者」とは、次のいずれかに該当する者をいいます。

① 入学の日の1年以前から引き続き金沢市内に住所を有する者

② 入学の日の1年以前から引き続き金沢市内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある

※ 入学手続時に納入することとします。ただし、令和7年3月本学大学院修士課程修了見込みの方は、納入する必要はありません。

- | | | |
|---------|----|-------------------------------------|
| (2) 授業料 | 年額 | 535,800円(前期・後期に分割し、4月及び10月の末日までに納入) |
|---------|----|-------------------------------------|

11. その他の納入金

成美会会費(後援会費) 45,000円(入学時に1回限り納入)

※ 入学金等は、改定される場合があります。

※ 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 願書受理後は、いかなる理由があっても書類の変更及び入学考査料の返還を受付けません。また、納入した入学金等も返還しません。

12. 個人情報の取扱い

個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号。以下「個人情報保護法」という。)に基づき、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、次のとおりです。

(1) 利用目的について

① 入学手続に係わる業務

② 入学後の学籍管理等の修学に係わる業務及び健康診断等の保健管理に係わる業務

③ 入学金及び授業料徴収等の納付金管理に係わる業務

④ 1年次における入学金免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務

⑤ 個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究

(2) 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、個人情報保護法第18条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用し、または第三者に提供することはありません。ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- ① 上記(1). ①～⑤の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託する場合
- ② 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - 1) 同窓会
 - 2) 成美会

13. その他

- (1) 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナ、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等)に罹患している者は受験できません。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。
- (2) 出願受付後は、いかなる理由があっても書類の返却及び記載事項の変更はできません。
- (3) 本要項に記載している内容を変更する場合があります。変更点については、本学ホームページで公表します。

指 導 教 員

| 研究領域 | 研究分野等 | 担当教員 | 主な研究内容 | 主指導 | 副指導 |
|-----------|-------|--|--|-----|-----|
| 美術 | 日本画 | 佐藤 俊介 教授 | 「徹底した写生」「日本画と情報機器の発展的関係」を軸にした、時代に対する強度及び普遍性を有す日本画制作研究 | ○ | |
| | | 荒木 恵信 教授 | 自身の主題にそった日本画制作研究、文化財の保存修復に関する研究、絵画材料や技術・図様など絵画表現の分析及び模写研究 | ○ | |
| | | 石崎 誠和 准教授 | 実感を基盤とした日本画の制作研究と文化の混淆による新たな絵画制作原理の研究 | ○ | |
| | | 松永 敏 准教授 | 日本画の制作過程の有効性、及び自己の展開を持続する日本画制作の研究 | | ○ |
| | 油画 | 三浦 賢治 教授 | 油彩画技法による絵画表現及び古典絵画技法・材料の研究 | ○ | |
| | | 大森 啓 教授 | 現代における絵画表現及び技法・材料の研究 | ○ | |
| | | 高橋 治希 教授 | 東洋古典園林の空間構造を援用した、インスタレーションおよび絵画の研究 | ○ | |
| | | 鈴木 浩之 教授(兼) | 絵画及び映像作品制作に関する研究 | ○ | |
| | | 岩崎 純 教授 | ミクストメディアによる絵画表現及び壁画制作に関する技法・材料の研究 | | ○ |
| | | 武田 雄介 准教授 | 絵画及びインスタレーションの研究 | ○ | |
| | 映像 | 鈴木 浩之 教授 | 絵画及び映像作品制作に関する研究 | ○ | |
| | | 武田 雄介 准教授(兼) | 絵画及びインスタレーションの研究 | ○ | |
| | | 早見 紗也佳 講師 | 映像表現及び上映技術の研究 | | ○ |
| | 彫刻 | 土井 宏二 教授 | 土を主な素材とした彫刻作品制作、並びに塑造全般に関する表現の研究 | ○ | |
| | | 浜田 周 教授 | 金属彫刻作品制作における金属加工技法、並びに金属素材の複合表現の研究 | | ○ |
| | | 芝山 昌也 教授 | 石をはじめとした多様な素材による彫刻制作と近現代日本彫刻史の研究 | ○ | |
| 伊藤 幸久 准教授 | | デジタルメディアを含む多様な素材を用いた具象彫刻及びインスタレーションの研究 | | ○ | |
| 七搦 綾乃 講師 | | 木を主な素材とした彫刻表現、及び技法・材料の研究 | | ○ | |
| 工 | 陶磁 | 山本 健史※ 教授 | 陶磁の表現及び理論の研究、ろくろ・型成形を応用した表現及び空間研究、有機物を利用した土のマチエール研究、釉着と釉彩の研究 | ○ | |
| | | 池田 晶一 教授 | 陶磁の表現及び理論の研究、陶磁におけるデジタル技術の活用、石膏型による鋳込み制作技術等の研究、公共空間の芸術表現研究 | ○ | |
| | | 宮永 春香 准教授 | 陶磁の表現及び理論の研究、陶磁における美術表現及び空間表現の研究、粉体成形を主とした窯業技術転用研究、陶磁釉薬の研究 | ○ | |
| 芸 | 漆芸 | 吉野 貴将 准教授 | 漆の乾漆技法及び加飾技法（蒔絵、螺鈿、変り塗りなど）を用いた、乾漆偶像表現の研究 | ○ | |
| | | 青木 千絵 准教授 | 漆造形表現及び理論の研究、特に乾漆技法を用いた人体表現の可能性について | ○ | |
| | | 金保 洋 講師 | 漆造形表現及び理論の研究、漆芸技法全般並びに漆における色彩表現の研究、現代における工芸理論の研究 | | ○ |
| | 金工 | 原 智※ 教授 | 鍛金造形表現及び理論の研究、金属加工技術並びに金属着色技術全般の研究、伝統的表現技法と現代の工芸に対する研究 | ○ | |
| | | 水代 達史 准教授 | 彫金造形表現及び理論の研究、伝統技法並びに現代技術を複合的に用いた加飾表現の研究、現代美術における金属工芸表現の研究 | | ○ |

| 研究領域 | 研究分野等 | 担当教員 | 主な研究内容 | 主指導 | 副指導 |
|------|------------------|------------|--|-----|-----|
| 工芸 | 染織 | 大高 亨 教授 | 染織の表現及び理論の研究、織の組織及び紋織技法の制作研究、テキスタイルデザイン及びデジタルテキスタイルの制作研究 | ○ | |
| | | 足立 真実 教授 | 染織の表現及び理論の研究、各種織物技法の制作研究、天然染料による染色の研究 | ○ | |
| | | 加賀城 健 教授 | 染織の表現と理論の研究、各種染色技法による制作研究、染色における美術表現及び空間表現の研究 | ○ | |
| デザイン | ホリスティックデザイン | 寺井 剛敏※ 教授 | ブランディング、ソーシャルデザイン領域及びカラーユニバーサルデザインに関する研究 | ○ | |
| | | 鏝 隆弘※ 教授 | 自然環境保全、都市景観のデザイン、屋外公共空間のデザイン、庭園デザイン、庭園の調査に関わる研究 | ○ | |
| | | 鈴木 康雄 教授 | 写真・映像領域及び多様な素材による表現に関する研究 | ○ | |
| | | 畝野 裕司 教授 | パッケージデザインと商業空間に関する研究 | ○ | |
| | | 北村 賢哉 教授 | くらし空間領域のプロダクトデザイン研究・連携と横断によるデザイン教育の研究 | | ○ |
| | | 坂野 徹 教授 | 印刷、組版、インフォグラフィックス、ゲーム、物語、経済、公共哲学などを起点としたデザインと情報編集の研究 | | ○ |
| | | 廣瀬 純子 准教授 | ファッション・コミュニケーションに関する研究 | | ○ |
| | | 清水 啓太郎 准教授 | 空間・ブランディング領域及びデジタルを含む体験空間領域に関する研究 | | ○ |
| | | 西本 耕喜 准教授 | 建築と都市のデザインに関する研究 | | ○ |
| | | | | | |
| デザイン | インダストリアルデザイン | 河崎 圭吾 教授 | 家電製品のデザイン研究 | ○ | |
| | | 安島 諭 教授 | 社会課題とデザインの関係、イノベーションメソッドに関する研究 | ○ | |
| | | 入矢 真一 教授 | UI・UX デザインの研究 | | ○ |
| | | 根来 貴成 教授 | インテリア・オフィス・コントラクトにおける家具デザインの研究 | ○ | |
| 芸術学 | 視覚文化研究 現代美術研究 | 山崎 剛 教授 | 日本の美術、特に工芸の歴史と文化、及び技法の継承に関する研究 | ○ | |
| | | よしだぎょうこ 教授 | 日本を含む東アジア独自の美術概念をベースにした、即戦力のある現代美術作品制作及び論考・展示表現 | | ○ |
| | | 金島 隆弘 准教授 | 東アジアの近現代美術や工芸を含む文化的エコシステムにおける協働、キュレーションの実践的研究 | | ○ |
| | | 村松 綾 准教授 | ヨーロッパの美術、及び歴史と文化、特に前近代の金属工芸技法と職人の社会的役割に関する研究 | | ○ |
| | | 折居 耕拓 講師 | 西洋近現代の美学・美術史・美術批評、フォーマリズムの概念を基軸とする現代美学の研究 | | ○ |

| | | | | |
|--------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 論文研究指導 | 高橋 明彦 教授 | 桑村佐和子 教授 | 大谷 正幸 教授 | 山崎 剛 教授 |
| | 荷方 邦夫 教授 | 渋谷 拓 教授 | 金島 隆弘 准教授 | 村松 綾 准教授 |
| | 稲垣 健志 准教授 | 吉田 明代 准教授 | 折居 耕拓 講師 | 桐谷 慧 講師 |

※山本 健史 教授(令和9年3月退職予定)

※鏝 隆弘 教授(令和9年3月退職予定)

※寺井 剛敏 教授(令和9年3月退職予定)

※原 智 教授(令和10年3月退職予定)

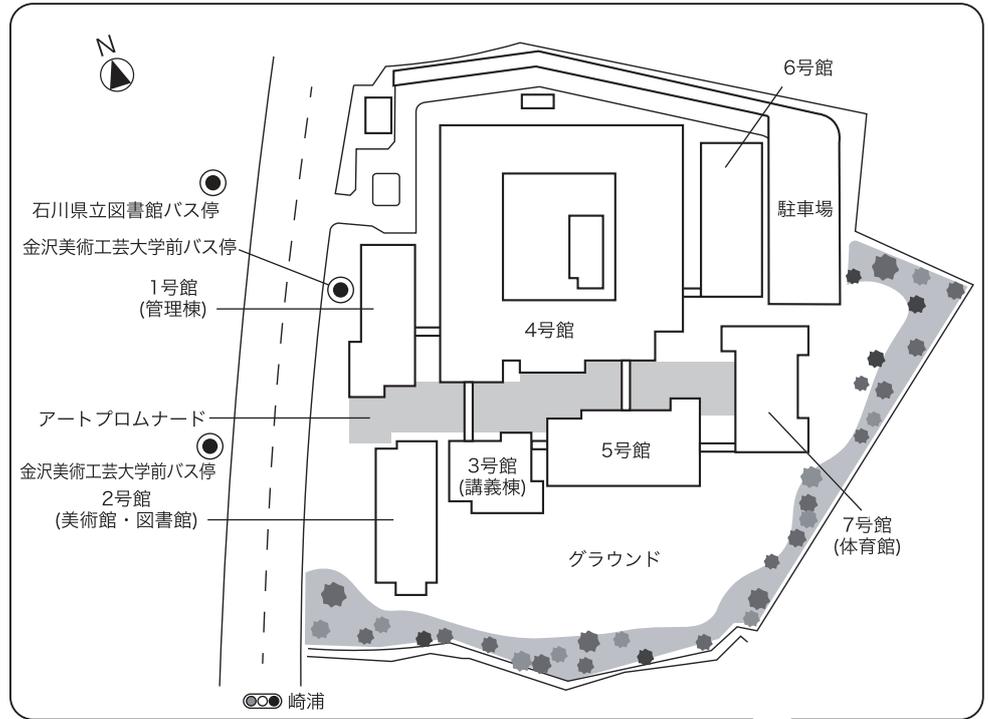
研究計画書

| | | |
|---------------------------------------|--|------|
| 志望する研究分野等において主に行いたい研究について、具体的に記述すること。 | | |
| ふりがな | | 受験番号 |
| 氏名 | | ※ |
| 志望する研究分野等 | | |
| | | |

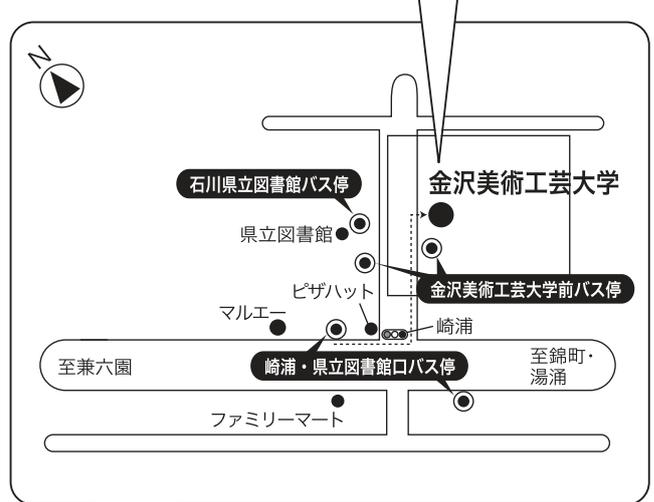
(注) ※の箇所は記入しないこと。

金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科 博士後期課程

● キャンパスレイアウト



● 交通アクセス



- 主要交差点
- 金沢美術工芸大学前バス停
- 石川県立図書館バス停
- 崎浦・県立図書館口バス停

大学への交通

● 電 車 / 金沢駅下車

● バ ス / 金沢駅兼六園口 (東口) バスターミナル6番のりば
①石川県立図書館行 (乗車約30分)
「金沢美術工芸大学前」で下車してください。

金沢駅兼六園口 (東口) バスターミナル6番のりば

- ①東部車庫行、①金沢学院大学行、
- ⑫湯涌温泉行、⑫北陸大学薬学部行、⑫北陸大学太陽が丘行、
- ⑯上辰巳行 (乗車約20~25分)

金沢駅金沢港口 (西口) バスターミナル5番のりば

- ⑩東部車庫行、⑩金沢学院大学行、 (乗車約25分)
- 「崎浦・県立図書館口」で下車してください。(徒歩約3分)

● タクシー / 金沢駅から約20分

● 自動車 / 北陸自動車道
金沢森本ICから約15分
金沢西ICから約25分

● 航空機 / 小松空港から
バス / リムジンバス (乗車約40分)
金沢駅下車
(乗り換え、兼六園・金沢港口
から電車の場合に同じ)